

# 各地からの便り

「各地からの便り」の詳細は

森もりスクエア

検索

## 新得町立富村牛小中学校で森林環境教育

【東大雪支署】  
10月25日、「トムラ散策路」において、新得町立富村牛小中学校の全校児童14名を対象に森林環境教育を実施しました。

「トムラ散策路」とは、新得町教育委員会と当署が平成21年度に協定を締結している「遊々の森」の名称で、富村牛小中学校ではフィールドを活用して森林散策や野鳥等の生態観察などの活動を行っています。

小学生班は、森の土の働きについて「生き物カード」を用いた導入ゲームをした後、野外にて実際に地中を掘り、どんな生き物が住んでいるのかを観察しました。

中学生班は、地元森林官から業務内容の説明を受けた後、「森林官の仕事体験」として遊々の森にて輪尺や（※）ブルーメライスをを使って森林調査を行いました。

生徒からは「とても貴重な体験ができました。

初めて使うブルーメライスはピストルのようでスナイパーになった気分でしたと感想がありました。

（※）ハンディタイプの樹高測定用機器）



森林官による仕事の説明

## 名寄市立名寄南小学校で森林教室

【上川北部森林管理署】  
11月1日と10日に「遊々の森」協定を締結している名寄市立名寄南小学校における森林教室を実施しました。

名寄南小学校では、毎年3年生を対象に2日間に分けて実施しており、今年度は82名の児童が参加しました。

1日は、小学校体育館で「カミネツコンを利用した植樹体験」と「翼をもったタネの模型づくり」を行いました。

カミネツコン（紙枠型の植樹ポット）の組み立てはみんな初めてで、多少難しかったようですが、子どもたち同士で協力し合いながら作成していました。また、翼をもったタネの模型作りでは、種子を遠くまで飛ばすためにタネに施されている工夫をみんな考え、模型が完成すると思いに飛ばして楽しんでいました。

10日には、森林が持つ「土砂災害防止機能」をテーマに、「土壌の吸水実験」と「森林の働きについての説明」を行いました。

森林教室終了後、木材を利用することで森林に興味を持って欲しいとの願いを込めて、木製のハガキと鉛筆をプレゼントしました。



作った模型でタネ飛ばし

## 滝上小学校・滝川小学校の森林環境教育

【西紋別支署】  
11月29日、滝上町滝上郷土館において、滝上町立滝上小学校6年生の児童11名と同町立濁川小学校3年生から5年生の児童5名の計16名の児童を対象とした森林環境教育を実施しました。

この森林環境教育は滝上みどりの森林推進協議会主催で実施されており、今回で2回目の開催となります。今回の森林環境教育では、滝上郷土館にて滝上町の林業の歴史を学びました。

昔の林業用の道具を見学しながら、のこぎりのノコ身が広くなっているのは、木をまっすぐに切るためであることや、昔は林家ではなく農家が、冬期間の収入のために、林業を行っていたことを学びました。

また、滝上町の林業に大きな影響を与えた、昭和29年の洞爺丸台風による風倒被害の説明も聞きました。

児童のみんなは、富士見峠に建立された樹霊碑の碑文を読みながら、当時に思いをはせていました。



郷土館にて木材の運搬について説明



平成28年12月4日、札幌市厚別区野幌森林公園内にある北海道博物館講堂において、「野幌森林公園の今」～10年間の動物調査でわかったこと～と題して、台風被害後の森林再生に関する情報発信を目的とするフォーラムを開催致しました。当日は、百五十名余りの野幌森林公園に関心のある市民の方々に参加をいただき、外は寒いにもかかわらず会場内は熱気みなぎる中でフォーラムが始まりました。

このフォーラムは、平成16年9月、台風により大きな被害を受けた野幌森林公園内の森林の回復状況について、10年間のモニタリング調査の成果をもとに、その経過と現状などを学識者とともに情報発信するものです。

石原森林整備部長より、国有林の近況報告と会場の皆様方へのお礼の挨拶があり、続いて、台風被害地の回復状況を把握するためのモニタリング調査の概要について、石狩地域森林ふれあい推進センター藤生所長から報告を行いました。



モニタリング調査概要の報告

続いて、学識者の方々から、「森林植生調査」や「野幌の外来植物」、「歩行性

甲虫（昆虫）調査」、「菌類（キノコ）調査」、「野生動物調査」についての報告など、各専門分野についての報告がありました。報告のあと、会場の方々から質問を出していただき、お答えをまじえながら、学識者の方々とパネルディスカッションを行いました。



学識者の方々とのパネルディスカッション

今回、フォーラムを開催したことにより森林再生について、多くの方々が関心を持っていくことが分かり、また、様々な視点からのご意見をいただくことができ、今後のより良い森林再生の取り組みにしていけると感じました。

（石狩地域森林ふれあい推進センター）

北海道森林管理局は、広大で大変豊かな森林を国民共通の財産として、世代を超えたさまざまなニーズに答えられるよう、持続的な管理経営に努めるとともに、より豊かな姿で次の世代に引き継ぐことを使命としております。

北海道森林管理局のホームページ内では、「公売・入札情報」「知床世界自然遺産」「エゾシカ対策」「森もり！スクエア」「イベント情報」等の各サイト内において北海道国有林の情報をお届けしております。



お知らせ

「北の国・森林づくり技術交流発表会」の開催について

北海道森林管理局では、平成29年2月2日、3日の2日間、北海道大学「学術交流会館」において、森林・林業に係る技術情報等の情報交換を図るため、「平成28年度北の国・森林づくり技術交流発表会」を開催することとし、森林づくり、森林環境教育を含め、森林・林業に関連する取組活動についての発表を行います。 ※詳しくは、北海道森林管理局HPをご覧ください。

広報 「北の森林 国有林」1月号  
 発行 林野庁北海道森林管理局  
 編集 総務企画部 企画課  
 〒064-8537 札幌市中央区宮の森3条7丁目70  
 I P 電話 050-3160-6300  
 電 話 011-622-5213  
 F A X 011-622-5194

<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>